

スポーツで楽しい人生を 総合型地域スポーツクラブの魅力

総合型地域スポーツクラブとは
地域住民が会員・スタッフとして自主運営する、新しいスポーツクラブです。
子どもの体力低下や成人の運動不足の解消、地域のコミュニケーションの向上のため、市では、学校区や公民館区に一つのクラブを設立することをめざしています。

生涯スポーツは「こころ」と「からだ」の健全な発達を促し、生命力や活力を与えてくれるものです。

そして、健康で豊かなライフスタイルを構築し、仲間づくりや地域づくり、夢や生きがいのもてる社会の形成に重要な役割を担っています。

いつでも、どこでも、いつまでも、より多くの人が生涯を通してスポーツを楽しめる

『総合型地域スポーツクラブ』の設立が、全国で進んでいます。

地域にスポーツクラブを

「クラブに加入することで、無理なく楽しく運動が続けられる」。

そう話すのは、市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会（以下、連絡協議会という）の田川重雄会長。

田川会長は、昭和53年から体育指導委員（現在のスポーツ推進委員）として、各種スポーツ事業での実技指導や企画運営に携わってきました。また、地域の人たちが主体的に運営する総合型地域スポーツクラブ（以下、クラブという）の設立にあたっては、スポーツ関係者や地域の人たちとともに、検討会議や視察研修等を重ね、平成21年2月にクラブ「きのもとeyes（アイズ）」を立ちあげました。

「高齢化が進む地域をなんとかしたい。より多くの人にスポーツを楽しんでもらえるよう、一過性のスポーツイベントから継続性のあるものに変えていきたい」という思いで、クラブ運営を行っています。

3つの多様性

現在、市内には高月・余呉・木之本・西浅井の各地区で4クラブが活動中



▲市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会
会長 田川 重雄さん

です。また、長浜・湖北の両地区では、2クラブが設立準備段階です。この6つのクラブで連絡協議会を組織し、クラブ間の情報交換や連携強化を通じてクラブ力をアップし、相互に発展していくことをめざしています。

クラブの特長について、田川会長は次の3つを挙げます。1つ目は、単一のスポーツ種目だけでなく、複数の種目が用意されている。2つ目は、しょうがいのある人を含め、幼児から高齢者まで多世代が参加できる。そして3つ目は、スポーツそのものを楽しみたい人から競技志向の人まで、自分の目的やレベルに応じてスポーツを楽しめることです。

クラブの必要性

スポーツの世界では、勝つための



クラブの発展
「色々な事業ができるのも、多くのスタッフが生涯スポーツの振興・発展のために努力いただいているお陰」と、田川会長。
行政に依存せず、地域住民の自主運営が基本となるクラブでは、指導者の確保や大会運営スタッフなど、多くの人の協力が必要となります。田川会長は、各地域の特性を活かしながらクラブが発展すること、そして、クラブの存在が、市民の健康増進と地域活性化につながることをめざしています。



▲スポーツ大会の運営を支えるスタッフ